



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月5日

上場会社名 立川ブラインド工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 7989 URL <https://www.blind.co.jp>
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）池崎 久也
問合せ先責任者（役職名）常務取締役管理本部長（氏名）小野 寿也 TEL 03(5484)6142
半期報告書提出予定日 2025年8月5日 配当支払開始予定日 2025年9月8日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	20,771	3.0	2,094	△3.7	2,187	△4.3	1,734	12.7
2024年12月期中間期	20,169	△1.2	2,175	2.1	2,284	△0.9	1,539	3.9

（注）包括利益 2025年12月期中間期 1,646百万円（△22.1％） 2024年12月期中間期 2,115百万円（13.7％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	86.30	—
2024年12月期中間期	83.28	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	64,325	53,992	83.9
2024年12月期	63,842	52,988	83.0

（参考）自己資本 2025年12月期中間期 53,992百万円 2024年12月期 52,988百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	14.00	—	32.00	46.00
2025年12月期	—	20.00	—	—	—
2025年12月期（予想）	—	—	—	45.00	65.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2025年12月期の配当予想の修正につきましては、本日（2025年8月5日）公表いたしました「第2四半期業績予想と実績値の差異および通期業績予想の修正ならびに剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,800	3.4	4,400	0.9	4,600	5.1	3,100	10.6	154.22

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2025年12月期の業績予想の修正につきましては、本日（2025年8月5日）公表いたしました「第2四半期業績予想と実績値の差異および通期業績予想の修正ならびに剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期中間期	20,763,600株	2024年12月期	20,763,600株
② 期末自己株式数	2025年12月期中間期	662,114株	2024年12月期	661,897株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年12月期中間期	20,101,571株	2024年12月期中間期	18,489,325株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善に向かい、景気は緩やかな回復基調となった一方、物価上昇の継続や実質賃金の動向、米国の通商政策、物流や建設業界の長時間労働の制限や人手不足等、先行きは不透明な状況が続いております。

また、当社グループ関連の建設・住宅業界は、2025年4月の建築基準法改正による建築確認申請対象の拡大や、建築物省エネ法改正による省エネ基準への適合義務化等で、住宅の新設に関する環境が大きく変化しており、これらの新設着工戸数への影響は不透明であります。更に、世帯数の減少が想定される中、建築コストの高騰や人手不足等も影響し、長期的に見ても新設住宅着工戸数は年々減少することが見込まれており、厳しい環境となっております。

このような環境の下、当社グループは、2023年12月期から2025年12月期までの中期経営計画「タチカワビジョン2025～継続と進化～」の方針に基づき、安定した収益を確保できる事業体制の構築や、建築物内外の生活環境の改善による社会貢献を継続しながら、「ものづくりとマーケティング」「経営基盤の強化」「サステナビリティへの取組み」の各種施策を推進しております。

本中期経営計画期間中の重要な設備投資である「技術研究棟」については、2024年10月に稼働しており、各種試験装置を備え、耐環境性や遮光性等、様々な状況を想定した評価を行うことで品質向上に取り組んでおります。今後、これらの設備を活用し、開発の質とスピードを更に向上させながら、ウェルビーイングや環境に配慮した製品を順次市場導入してまいります。

また、サステナビリティへの取組みについては、CO2排出量削減活動において生産プロセスの見直しによる省エネルギー化や各拠点の照明についてLED化を実施する等、サステナビリティ基本方針を踏まえ特定したマテリアリティに対し、目標達成に向けた取組みを推進しております。

当中間連結会計期間の室内外装品関連事業においては、主力ファブリック製品のリニューアルを実施すると共に、価格改定による収益改善に努めたほか、生活様式やニーズが大きく変化する中、バッテリー仕様を強化している電動製品や、調光ロールスクリーン「ルミエ」、調光タテ型ブラインド「エアレ」をはじめとする調光可能なファブリック製品等の拡販に努め、将来の基盤となる新規マーケットの開拓に注力してまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は20,771百万円（前年同期比3.0%増）となりました。営業利益は、室内外装品関連事業の主力ファブリック製品のリニューアルに関する販促費を増加させたことにより、2,094百万円（前年同期比3.7%減）、経常利益は2,187百万円（前年同期比4.3%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は投資有価証券や固定資産の売却、福利厚生施設の減損損失による特別損益の計上や法人税額の減少により1,734百万円（前年同期比12.7%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

[室内外装品関連事業]

心身の健康を保ちながら快適に過ごせる環境を整える「ウェルビーイング」の考え方が浸透する中、「安心・安全・快適・健康・環境」を軸に、主力製品のロールスクリーン「ラルクシールド」およびタテ型ブラインド「ラインドレープ」の生地柄を、質感・配色・機能性を充実させたラインナップへ大幅にリニューアルし、また、ニーズの多い遮熱生地・遮光生地も豊富に取り揃えました。

また、電動製品ホームタコスにも注力しており、対象製品に昨年発売した採光と眺望を自由にコントロールできる調光タテ型ブラインド「エアレ」を加えたほか、充電式のバッテリーを搭載した「バッテリー仕様」の対象製品を拡大し、更にスマートフォンの専用アプリによって開閉操作が可能となる「スマホ操作」を追加する等電動製品の更なる利便性向上に努めてまいりました。

その他、「タチカワブラインド新製品発表会」を開催し、“タチカワブラインドで満たされる心と暮らし”をテーマに、今年発売の新製品をはじめ、新たな価値観や多様化するニーズに対応する製品を訴求してまいりました。

以上の結果、売上高は17,883百万円（前年同期比3.3%増）となり、営業利益につきましては、価格改定やコスト低減活動等の収益改善に努めたが、主力ファブリック製品リニューアルに伴う販促物の先行投資により販管費が増加したことで、1,881百万円（前年同期比6.2%減）となりました。

〔駐車場装置関連事業〕

既設物件に対する付加価値提案による改修工事の受注獲得に注力するも、主力製品の「パズルタワー」の新設工事が減少したことにより、売上高は1,276百万円(前年同期比3.9%減)となりました。営業利益につきましては、原材料価格が高止まりしている中、利益率の高い改修工事が増加したことにより163百万円(前年同期比20.1%増)となりました。

〔減速機関連事業〕

工作機械需要が緩やかな回復基調となる中、汎用減速機の受注が堅調に推移したほか、顧客ニーズに応えた個別製品の開発による提案営業に注力した事で、売上高は1,611百万円（前年同期比5.8%増）となりました。営業利益につきましては、売上高の増加により48百万円(前年同期比42.8%増)となりました。

（２）財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の総資産は64,325百万円で、前連結会計年度末と比較し483百万円の増加となりました。

（資産）

流動資産は40,687百万円で、前連結会計年度末と比較し1,124百万円の増加となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が減少した一方で、現金及び預金や棚卸資産が増加したことによるものであります。

固定資産は23,638百万円で、前連結会計年度末と比較し641百万円の減少となりました。これは主に、有形固定資産の減少によるものであります。

（負債）

負債は10,333百万円で、前連結会計年度末と比較し520百万円の減少となりました。これは主に、未払金や役員退職慰労引当金が減少したことによるものであります。

（純資産）

純資産は53,992百万円で、前連結会計年度末と比較し1,003百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する中間純利益の計上により増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は83.9%と、前連結会計年度末と比較し、0.9ポイントの増加となりました。

〔キャッシュ・フローの状況〕

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、1,543百万円増加し、16,520百万円となりました。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動による資金は、2,016百万円の増加（前年同期は467百万円の増加）となりました。

これは税金等調整前中間純利益2,373百万円に対し、減価償却費572百万円、売上債権の減少額1,397百万円等による増加があった一方で、棚卸資産の増加額749百万円、投資有価証券売却益369百万円、法人税等の支払額873百万円等による減少があったことによるものであります。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動による資金は、217百万円の増加（前年同期は1,013百万円の減少）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出372百万円があった一方で、有形固定資産の売却による収入185百万円、投資有価証券の売却による収入516百万円等があったことによるものであります。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動による資金は、669百万円の減少（前年同期は485百万円の減少）となりました。

これは主に、配当金の支払641百万円等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の業績予想につきましては、当中間連結会計期間の業績等を勘案した結果、2025年2月12日公表しました予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2025年8月5日）公表の「第2四半期業績予想と実数値の差異および通期業績予想の修正ならびに剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,537,861	17,081,106
受取手形、売掛金及び契約資産	9,005,235	7,189,641
電子記録債権	7,168,147	7,652,042
商品及び製品	866,250	1,000,664
仕掛品	1,680,284	1,755,474
未成工事支出金	53,802	16,915
原材料及び貯蔵品	4,958,631	5,525,892
その他	379,012	542,570
貸倒引当金	△85,656	△76,559
流動資産合計	39,563,568	40,687,748
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,039,823	16,968,531
減価償却累計額	△10,617,032	△10,805,495
建物及び構築物(純額)	6,422,790	6,163,035
土地	8,462,924	8,226,172
その他	17,897,658	18,054,877
減価償却累計額	△15,297,764	△15,511,550
その他(純額)	2,599,894	2,543,327
有形固定資産合計	17,485,609	16,932,535
無形固定資産	421,234	475,694
投資その他の資産		
投資有価証券	3,626,611	3,387,984
退職給付に係る資産	796,602	804,818
その他	1,988,812	2,041,987
貸倒引当金	△39,674	△4,945
投資その他の資産合計	6,372,353	6,229,845
固定資産合計	24,279,196	23,638,076
資産合計	63,842,765	64,325,824

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,886,644	1,802,515
電子記録債務	2,128,123	2,515,750
未払金	1,323,292	884,996
未払法人税等	986,802	804,203
賞与引当金	240,303	270,654
役員賞与引当金	66,090	34,018
製品保証引当金	11,613	11,890
その他	1,273,977	1,295,954
流動負債合計	7,916,845	7,619,982
固定負債		
役員退職慰労引当金	465,867	134,279
退職給付に係る負債	2,351,559	2,401,411
その他	119,777	178,130
固定負債合計	2,937,203	2,713,820
負債合計	10,854,049	10,333,802
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	7,633,412	7,633,412
利益剰余金	40,117,963	41,209,394
自己株式	△566,643	△566,955
株主資本合計	51,659,732	52,750,851
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,101,680	1,024,469
為替換算調整勘定	112,863	88,596
退職給付に係る調整累計額	114,438	128,104
その他の包括利益累計額合計	1,328,983	1,241,169
純資産合計	52,988,715	53,992,021
負債純資産合計	63,842,765	64,325,824

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	20,169,383	20,771,891
売上原価	11,724,232	12,034,982
売上総利益	8,445,151	8,736,908
販売費及び一般管理費	6,269,440	6,642,779
営業利益	2,175,711	2,094,129
営業外収益		
受取利息	1,615	9,113
受取配当金	55,932	56,616
不動産賃貸料	18,751	19,007
受取保険金	1,331	-
為替差益	14,270	-
その他	24,213	22,800
営業外収益合計	116,114	107,538
営業外費用		
支払利息	2	431
不動産賃貸原価	4,327	4,433
自己株式取得費用	818	-
為替差損	-	7,890
その他	1,910	1,617
営業外費用合計	7,059	14,372
経常利益	2,284,766	2,187,295
特別利益		
固定資産売却益	2,938	166,218
投資有価証券売却益	94,127	369,320
特別利益合計	97,065	535,539
特別損失		
固定資産除売却損	0	14,536
ゴルフ会員権退会損	-	4,800
減損損失	-	329,738
特別損失合計	0	349,074
税金等調整前中間純利益	2,381,832	2,373,759
法人税、住民税及び事業税	696,617	666,002
法人税等調整額	100,866	△26,927
法人税等合計	797,483	639,074
中間純利益	1,584,348	1,734,685
非支配株主に帰属する中間純利益	44,496	-
親会社株主に帰属する中間純利益	1,539,852	1,734,685

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間純利益	1,584,348	1,734,685
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	487,248	△77,211
繰延ヘッジ損益	1,576	-
為替換算調整勘定	33,729	△24,267
退職給付に係る調整額	8,124	13,666
その他の包括利益合計	530,678	△87,813
中間包括利益	2,115,027	1,646,871
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,032,449	1,646,871
非支配株主に係る中間包括利益	82,577	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 1 月 1 日 至 2024年 6 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 1 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,381,832	2,373,759
減価償却費	578,577	572,458
賞与引当金の増減額(△は減少)	34,788	30,350
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△30,572	△32,071
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△9,842	△4,982
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	59,819	66,317
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	16,172	△331,588
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△5,966	276
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△22,597	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,605	△5,445
固定資産除売却損益(△は益)	△2,938	△151,681
減損損失	-	329,738
ゴルフ会員権退会損	-	4,800
投資有価証券売却損益(△は益)	△94,127	△369,320
受取利息及び受取配当金	△57,548	△65,730
支払利息	2	431
為替差損益(△は益)	△12,660	8,883
売上債権の増減額(△は増加)	1,073,271	1,397,710
棚卸資産の増減額(△は増加)	△821,385	△749,353
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,108,203	△146,544
未払金の増減額(△は減少)	△255,057	△346,219
その他	△464,229	242,715
小計	1,253,730	2,824,503
利息及び配当金の受取額	57,551	65,982
利息の支払額	△2	△379
法人税等の支払額	△844,172	△873,382
営業活動によるキャッシュ・フロー	467,106	2,016,723
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△668,571	△372,105
有形固定資産の売却による収入	11,098	185,000
無形固定資産の取得による支出	△31,049	△94,478
投資有価証券の取得による支出	△297	△294
投資有価証券の売却による収入	346,192	516,808
事業譲渡による支出	△196,906	-
投資その他の資産の増減額(△は増加)	25,853	△17,485
定期預金の純増減額(△は増加)	△500,000	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,013,682	217,441
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△20,945	△27,816
配当金の支払額	△445,426	△641,702
非支配株主への配当金の支払額	△19,658	-
自己株式取得のための預託金の増減額(△は増加)	164,760	-
自己株式の取得による支出	△163,724	-
その他	△499	△311
財務活動によるキャッシュ・フロー	△485,493	△669,831
現金及び現金同等物に係る換算差額	28,190	△21,092
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,003,878	1,543,242
現金及び現金同等物の期首残高	15,402,252	14,977,295
現金及び現金同等物の中間期末残高	14,398,373	16,520,537

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間及び前連結会計年度の中間連結財務諸表及び連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	17,318,310	1,327,922	1,523,150	20,169,383	—	20,169,383
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	37,003	37,003	△37,003	—
計	17,318,310	1,327,922	1,560,153	20,206,387	△37,003	20,169,383
セグメント利益	2,004,994	136,462	34,254	2,175,711	—	2,175,711

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	17,883,762	1,276,534	1,611,594	20,771,891	—	20,771,891
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	20,867	20,867	△20,867	—
計	17,883,762	1,276,534	1,632,461	20,792,758	△20,867	20,771,891
セグメント利益	1,881,307	163,912	48,910	2,094,129	—	2,094,129

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「室内外装品関連事業」セグメントにおいて、今後の使用見込みが無いと判断した遊休資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間においては329百万円であります。